

東京都地方独立行政法人評価委員会 平成22年度第3回試験研究分科会

議事概要

- 1 日時：平成22年7月30日(木) 14時00分から16時30分まで
- 2 場所：東京都庁第一本庁舎33階北側 特別会議室N1
- 3 出席者：板生委員、泉澤委員、井上委員、奥田委員、鞠谷委員
- 4 議題：1 審議事項
  - (1)平成21年度 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター  
業務実績評価(案)について
  - (2)平成21年度 財務諸表、利益処分に対する意見聴取について
- 2 その他

5 議事概要：

- (1)平成21年度地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター業務実績評価(案)の検討  
<項目別評価>  
資料1により28の項目別評価の単位ごとに評価を決定し、評価説明文について検討した。

【委員意見】

- 項目1 製品化支援(中小企業振興公社との協定に基づいた連携について)
  - ・技術審査の実績は、この項目ではなく項目10で評価することが適当である。
- 項目5 製品化支援(技術経営支援室、知的財産相談、オーダーメイド開発支援、上流技術支援について)
  - ・知的財産にかかる相談は非常に大事だが、相談窓口の実績が伸び悩んでいるのが少々問題である。
- 項目6 産学公連携等の推進(コーディネータ等による産学公連携の取組み、技術シーズの収集・提供について)
  - ・コーディネータ事業の成約件数は少ないと感じる。様々なテーマをコーディネートしてアレンジしていく取組はもっとあってもよい。また各大学等で取り組んでいる研究テーマをデータベース化するなどの仕組みづくりも必要。
- 項目10 助成、融資及び表彰等に関する評価支援
  - ・技術審査について、中小企業の振興に重要な局面となる公的な支援制度を支えて評価審査するという観点では、社会的な意義として大変大きい。
- 項目11 知的財産権の取得及び活用の促進
  - ・特許出願件数99件という件数は、少ないと感じる。また審査請求に進む件数、特許成立数など、特許の質に関わる分析も行われたい。

#### 項目 1 4 技術相談（技術相談に関する取組みについて）

- ・エンジニアリングアドバイザーによる生産現場での実地技術支援は評価できるが、さらに実績を上げて欲しい。
- ・遠隔相談システムの利用実績を上げる工夫など、技術相談の実績をより一層の上げる取組が必要。

#### 項目 1 7 基盤研究

- ・研究テーマ設定について、産業の動向を踏まえて、少しずつ質を変えていかなければならず、もう少し工夫があってもよい。
- ・様々な研究に取り組んだ結果、特許取得数の増加へ結びつくような広がりが欲しい。

#### 項目 2 6 組織体制及び運営

- ・産業構造の変化を踏まえた事業化支援に対応する積極的な経営方針が、もっと出てくることを期待したい。

#### < 全体評価 >

資料 2 により全体について評価を決定し、評価（案）について検討した。

#### 【委員意見】

- ・全体評価結果については、「業務全体が優れた業務の進捗状況にある」が妥当。
- ・事業実績の報告について、量から質に重点を置いて欲しいと常に言っていることが全体評価に反映されている。
- ・研究開発で実力を蓄えることが、結果的に中小企業への支援に繋がるという観点でいうと、この総評の中に研究開発に関わる記載も必要と考える。

#### ( 2 ) 財務諸表、利益処分に対する意見聴取について

事務局から資料 3 ~ 4 により、財務諸表と利益処分について説明。

#### 【委員意見】

- ・目的積立金について、現金及び預金の財源があるなしで全額使えないということになるため、この中期期間の最終年度にもう一度利益剰余金の分析が必要。
- ・機器利用や依頼試験の 5 0 % 減額の影響について、金額換算したらどのくらいになるのか。  
(事務局回答) 減額による損失として、1, 6 2 5 万ほどとなる。

#### ( 3 ) その他

事務局から、次回以降の分科会の日程等について案内。

以上